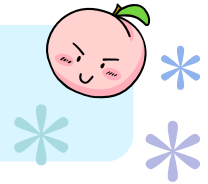


## 全国学校給食週間のお話（中）



1月24日（金）から全国学校給食週間が始まりました。

学校給食は、明治22年から山形県つるおか鶴岡市の忠愛ちゅうあい小学校で始まりました。当時の給食は、昼食を持って来ることができない子どもたちのために、おにぎりや焼き魚、つけ物を用意していました。その後、全国へと広まりましたが、第二次世界大戦の影響で食べ物が手に入らなくなり、昭和16年ごろには給食を作ることができなくなってしまいました。昭和20年に戦争が終わってからも、子どもたちは食べるものがなく、栄養不足に苦しんでいました。そんな日本の様子を見たアメリカやヨーロッパの国が食べ物を送ってくれたことで、給食を再開することができ、多くの子どもたちが救われました。

全国学校給食週間は、当時の気持ちを忘れることなく、学校給食の大切さを改めて考えてみるために設けられました。私たちの健康を守り、心を豊かにする学校給食の役割を考え、豊かになった食事に感謝する1週間にしましょう。